

2018 第 65 期
Business Report 報 告 書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

ジオマテック株式会社

証券コード 6907

C contents

目次

| | |
|---------------------|----|
| 株主の皆様へ | 2 |
| 財務ハイライト | 3 |
| 財務データ | 5 |
| 財務指標 | 7 |
| 事業の経過及び成果 | 8 |
| FOCUS | |
| g.moth™のご紹介 | 9 |
| GEOMATEC製品の歩み | 11 |
| 株式の状況 | 13 |
| 会社概要 | 14 |

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第65期株主通信をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、地政学的なリスクはあるものの、雇用・所得環境の改善が進むなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が継続すると見込まれているものの、保護主義的な通商政策の広がりや地政学リスク等の外部環境の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移していくものと予想されております。

このような環境の中、当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォン向けは年末にかけて新商品の投入などで盛り上がりはあったものの、タブレット端末やデジタルカメラの需要が低迷していることや、カーナビゲーション向けにおいても抵抗膜式タッチパネルの需要が低迷していることなどから厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は70億46百万円となりました。損益につきましては、前期に実施した固定資産の減損処理により減価償却費が大幅に減少したことに加え、原価低減、発生費用の削減など経営全般にわたる効率化に取り組みましたが、当社の子会社である吉奥馬科技(無錫)有限公司において、デジタルカメラ向けやカーナビゲーション向けの売上高の減少により大幅な赤字を計上したことから、営業利益は96百万円、経常利益は98百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は79百万円となりました。

このような状況のもと、当社グループは、当社の主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜について積極的な販売活動や、更なる品質の安定、生産性の向上に取り組み受注を獲得するとともに、その他の薄膜製品についても拡販に努めてまいります。

また、今後期待される車載・半導体などの新規市場への展開、新規製品の開発に向けた施策の実行を推し進め、新たな収益基盤の確保に取り組み、企業価値の向上につなげてまいりたいと考えております。

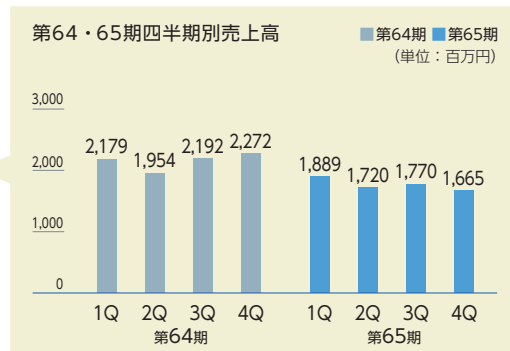
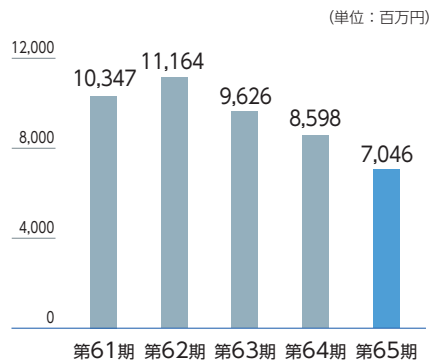
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



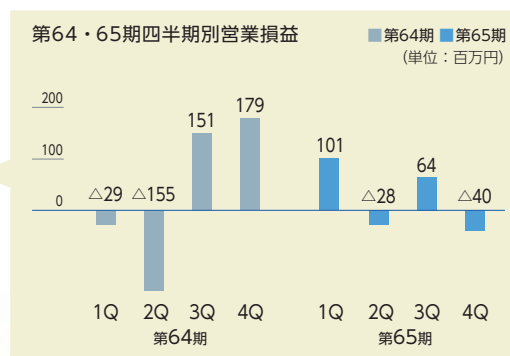
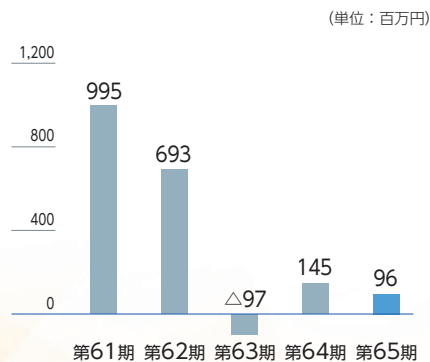
代表取締役社長兼CEO 松崎 建太郎

財務ハイライト

売上高
7,046百万円

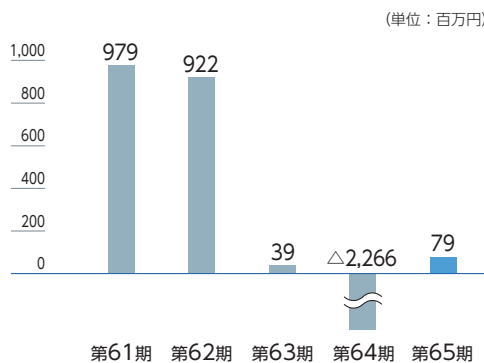


営業損益
96百万円



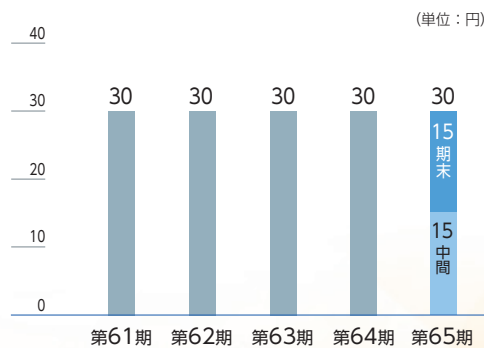
親会社株主に帰属する
当期純損益

79 百万円



配当金

30 円



財務データ

▲ 連結貸借対照表

資産の部

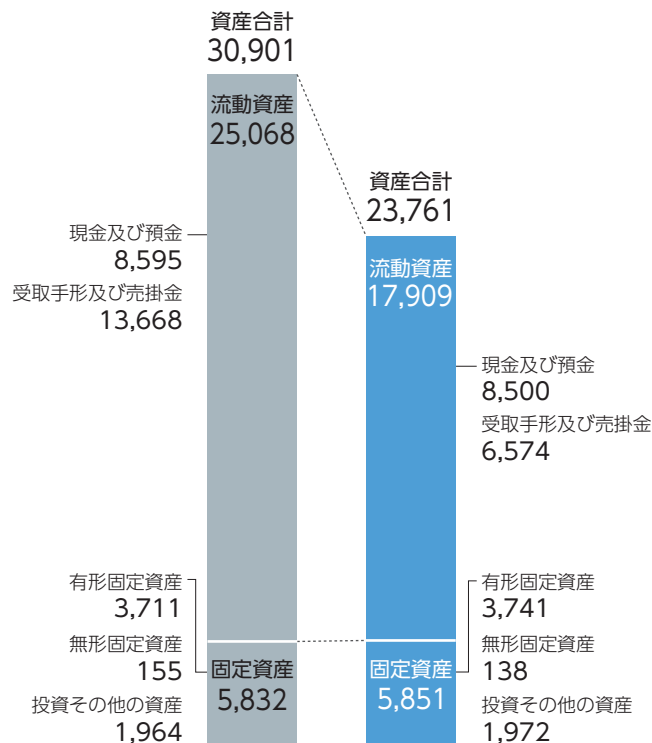
前連結会計年度末

2017年3月31日現在

当連結会計年度末

2018年3月31日現在

(単位：百万円)



負債・純資産の部

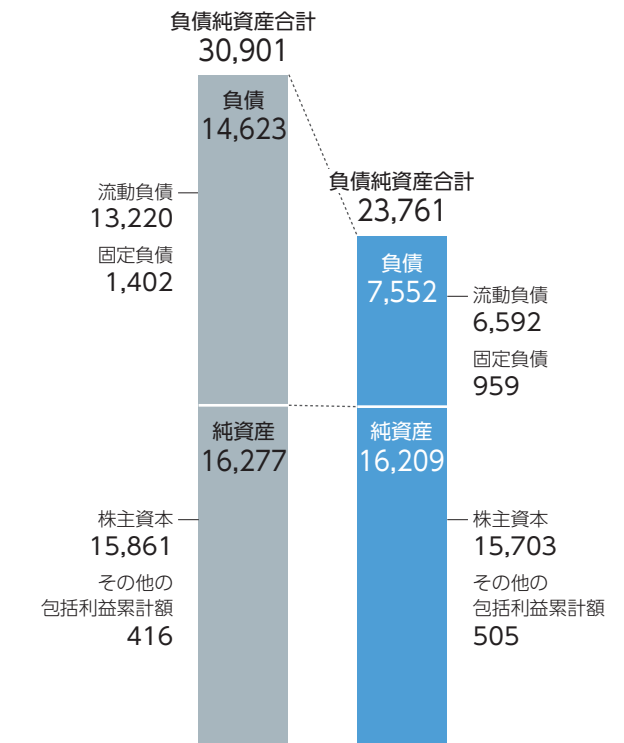
前連結会計年度末

2017年3月31日現在

当連結会計年度末

2018年3月31日現在

(単位：百万円)



▲ 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第64期 2016.4.1~2017.3.31 | 第65期 2017.4.1~2018.3.31 |
|---|----------------------------|----------------------------|
| 売上高 | 8,598 | 7,046 |
| 売上原価 | 6,777 | 5,255 |
| 売上総利益 | 1,821 | 1,790 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,675 | 1,693 |
| 営業利益 | 145 | 96 |
| 営業外収益 | 100 | 75 |
| 営業外費用 | 21 | 73 |
| 経常利益 | 224 | 98 |
| 特別利益 | 567 | — |
| 特別損失 | 3,042 | 8 |
| 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△) | △2,250 | 90 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16 | 10 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △2,266 | 79 |

▲ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第64期 2016.4.1~2017.3.31 | 第65期 2017.4.1~2018.3.31 |
|---------------------|----------------------------|----------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,231 | 992 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 314 | △336 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,313 | △772 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △78 | 22 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 153 | △94 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,341 | 9,495 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 9,495 | 9,400 |

▲ 連結株主資本等変動計算書

第65期(2017.4.1~2018.3.31)

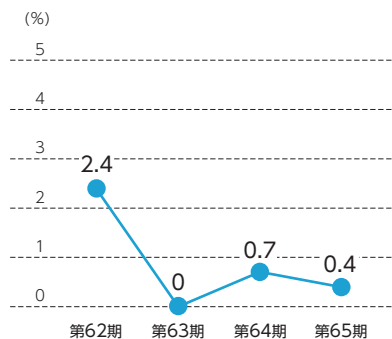
(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産 合計 |
|-------------------------------|-------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|-----------|
| | 資本金 | 資 余 金 | 本 金 | 利 余 金 | 自己株式 | 株主資本 合 計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | |
| 2017年4月1日 残高 | 4,043 | 8,297 | | 4,831 | △1,311 | 15,861 | 110 | 273 | 32 | 416 | 16,277 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △237 | | △237 | | | | | △237 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | 79 | | 79 | | | | | 79 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | | △30 | 69 | 50 | 89 | 89 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | | △157 | — | △157 | △30 | 69 | 50 | 89 | △68 |
| 2018年3月31日 残高 | 4,043 | 8,297 | | 4,673 | △1,311 | 15,703 | 79 | 343 | 83 | 505 | 16,209 |

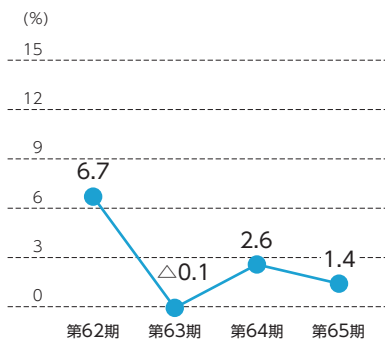
財務指標

収益性

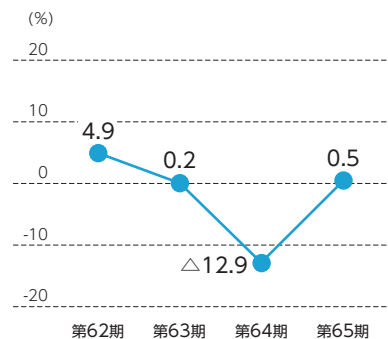
総資産経常利益率



売上高経常利益率

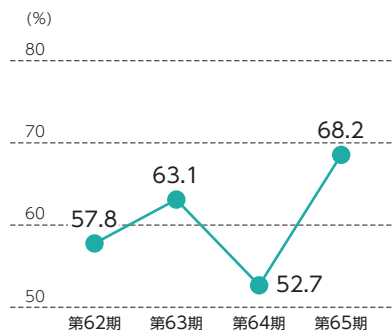


自己資本当期純利益率

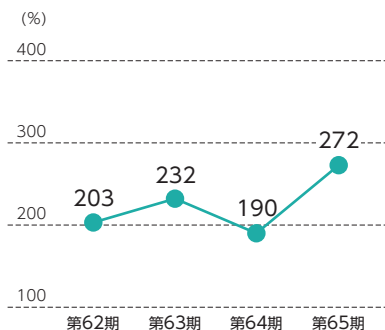


安全性

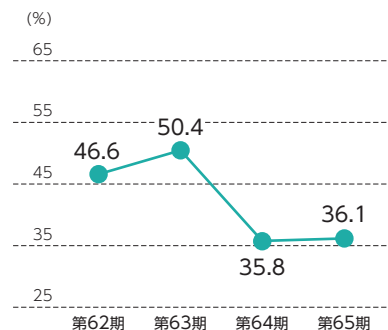
自己資本比率



流動比率



固定比率



■ 総資産経常利益率＝経常利益÷総資産(注) ■ 売上高経常利益率＝経常利益÷売上高 ■ 自己資本当期純利益率＝親会社株主に帰属する当期純利益÷純資産(注)
 ■ 自己資本比率＝純資産÷総資産 ■ 流動比率＝流動資産÷流動負債 ■ 固定比率＝固定資産÷純資産
 (注) 総資産・純資産につきましては期中平均で算出しております。

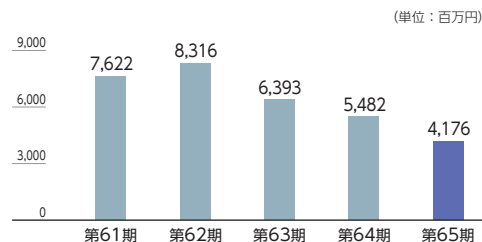
事業の経過及び成果

■フラットパネルディスプレイ用基板

液晶パネル用帯電防止膜は、スマートフォン向けは安定的に推移しましたが、タブレット端末向けは、パネルの生産拠点が中国に移管されたことから受注は大幅に減少いたしました。タッチパネル用透明導電膜は、スマートフォン向けは安定的に推移しましたが、カーナビゲーション向けタッチパネル用透明導電膜は、抵抗膜式への需要回復がみられないことから受注は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は41億76百万円(前期比23.8%減)となりました。

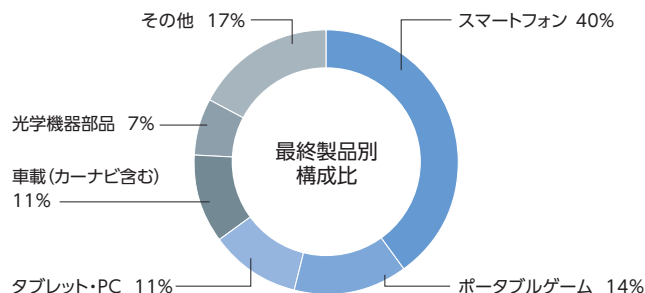
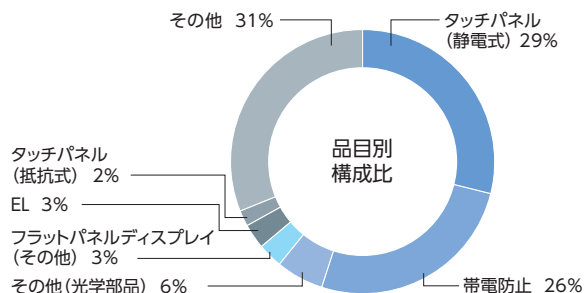
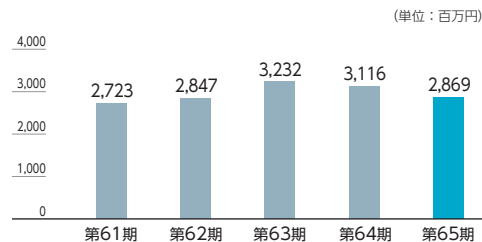
■フラットパネルディスプレイの売上高推移



■その他

その他製品につきましては、多種多様な製品・分野向けに薄膜製品の販売活動に取り組んだ結果、新たな製品市場からの受注は増えてきたものの、前期好調だったデジタルカメラ向け反射防止・防汚膜の受注が減少したことなどから、売上高は28億69百万円(前期比7.9%減)となりました。

■その他の売上高推移



g.moth™のご紹介

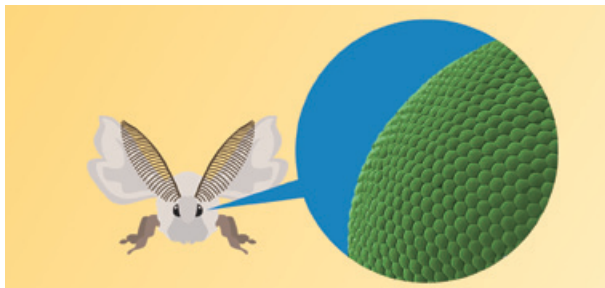
概要

g.moth™(ジーモス)はナノサイズの突起構造を形成する表面処理技術です。

自然界において、蛾の複眼表面やハスの葉表面には目に見えない無数の突起構造が並んでおり、超低反射性・超撥水性・防汚性を有しています。

これと同様の特長を有するg.moth™の詳細をご紹介します。

※1ナノメートル=100万分の1ミリメートル



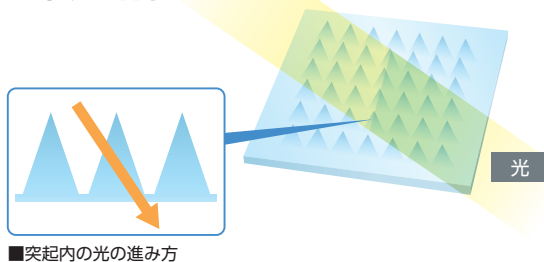
蛾の複眼表面の突起構造が光の反射を抑え、天敵などから身を守り、汚れなどの付着を防いで視覚能力を維持しています。



ハスの葉表面の突起構造が水滴や汚れの付着を防ぎ、葉の表面を清潔に保って効率良く光合成を行っています。

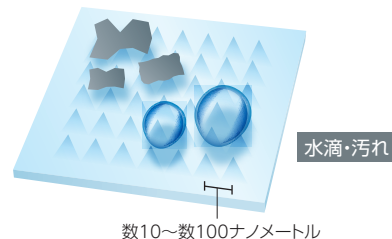
g.moth™の機能

超低反射性



ナノサイズの突起構造が入射光の屈折率変化を緩やかにすることで、光の表面反射を大幅に低減します。

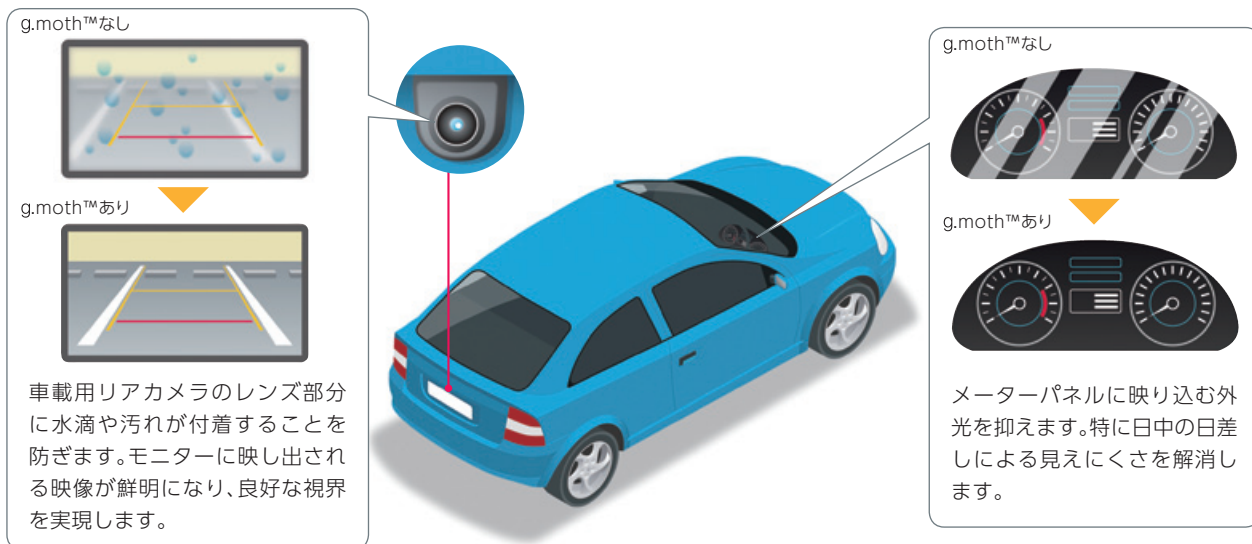
超撥水性・防汚性



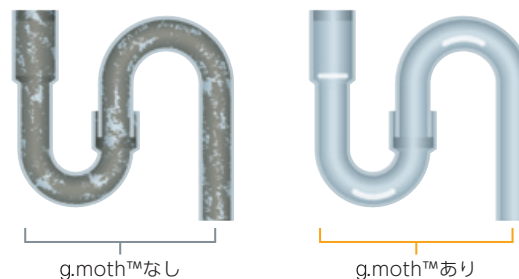
ナノサイズの突起構造がハスの葉と同じように表面の水滴や汚れをはじきます。

今後の展望

g.moth™は様々な分野で効果を発揮します。今後の展開を見込む用途の一例をご紹介します。



ショーウィンドウに映り込む外光を抑えて、ガラス越しの商品・展示物をより鮮明に見せることができます。加えて、汚れの付着を防ぎ、清掃等の回数を抑えることができます。

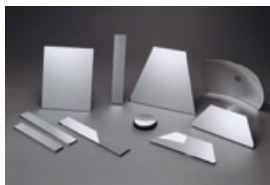


パイプ内側の突起構造が、飲料水・排水・油などの流動抵抗を限りなくゼロに近づけ、流れをスムーズにします。加えて、内部に汚れや油が付着することを防ぎ、清掃・点検等の回数を抑えることができます。

GEOMATEC製品の歩み

当社は、1953年の設立以来、一貫して「社会への光の応用」をテーマに、フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品などの中核要素を担う真空成膜技術に特化した受託加工メーカーとして企業活動に努めてまいりました。

- カメラ：アルミ表面鏡
- 玩具：アルミ表面鏡



- カメラ：ARコート・光学多層膜
- ルーペ：ARコート

- 二眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- 一眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- ラジオ：セラミックバリコン用銀電極膜
- マジックミラー：Tiハーフミラー
- 航空機：計器類カバーガラス用SnO₂電極膜
- 電子顕微鏡：内窓ガラス用SnO₂電極膜
- 信号機：カバーガラス用SnO₂電極膜（曇り止め用）
- 天体望遠鏡：アルミ表面鏡
- 潜水艦：潜望鏡カバーガラス用SnO₂電極膜

- 液晶腕時計：In₂O₃→ITO膜
- 複写機：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡



- 簡易印刷機：その他金属膜
- 装飾用照明：グラリエントフィルター
- 液晶電卓：In₂O₃→ITO膜
- 船舶：レーダー用ダイクロイックフィルター
- 時計用着色カバーガラス：TiO₂、Cr₂O₃等使用
- テレビ：コントラスト調整用ウェッジフィルター
- 液晶置時計：ITO膜

- リアプロジェクションTV：アルミ表面鏡
- 交換レンズ：銀表面鏡・アルミ高反射鏡
- ステッパー：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡
- オートレフ：コールドミラー
- ラップトップ型ワープロ：ITO膜



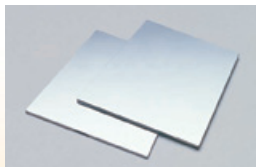
- ビデオカメラ：IRカットフィルター
- 複写機：原稿台カバーガラス用ITO膜
- 光パワーメーター：ステップフィルター
- 扁平ブラウン管TV：蛍光体へのSiO₂コート

1950年代

- サングラス：Crハーフミラー
- 自動車：バックミラー用Cr反射鏡
- 航空機：翼端灯用銀反射鏡
- OHP：アルミ表面鏡
- 双眼鏡：ARコート
- 自動車：ルームミラー用Cr反射鏡

1960年代

- 投影机：アルミ表面鏡
- レントゲン装置：アルミ表面鏡
- ジアゾ式複写機：アルミ表面鏡



- 一眼レフカメラ：銀表面鏡

1970年代

- 家電製品：ITO膜
- 事務機器：ITO膜
- 太陽電池：ITO膜
- リアプロジェクションTV：青ダイクロイックミラー
- 歯科医用照明：コールドミラー・フィルター
- ビデオカメラ：ローパスフィルター
- LDプレーヤー：ARコートレーザーミラー



1980年代

- CDプレーヤー：ARコート・レーザーミラー
- 液晶プロジェクター：ダイクロイックミラー・フィルターARコート



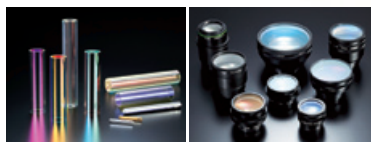
- ラップトップ型パソコン：ITO膜
- レーザープリンター：アルミ高反射鏡
- 複写機：IRカットフィルター
- 液晶テレビ：ITO膜

●ラボ用プリンター：ダイクロイックミラー・
フィルター・ARコート

●PDA：ITO膜

●液晶モニター付きビデオカメラ：ITO膜

●レーザーマーカ：ARコート



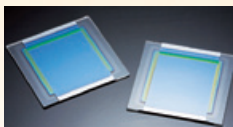
●ATM／CD：タッチパネル用ITO膜

●液晶テレビ・パソコン：ITO膜

●カラー携帯電話：
ITO膜・金属膜



●全固体型薄膜リチウム
イオン二次電池



●光通信：ARコート・フィルター

●DMDプロジェクター：
ダイクロイックミラー・
ARコート・セラミック
コート



●液晶リアプロジェクションTV：ダイクロイックミラー・
フィルター・ARコート

●モバイル機器：有機EL用ITO膜

●ポータブルオーディオ：有機EL用ITO膜

●静電容量方式タッチパネル用ITO膜・金属膜

●LCD用帯電防止膜

●有機太陽電池用TCO膜

●クリアヒート®:ITO膜(東邦シートフレーム株式会社共同開発品)

●静電容量方式タッチパネル：
フィルム用ITO膜・金属膜

●ロール to ロール成膜

●照明：有機EL用ITO膜・金属膜

●マスクブランクス用遮光膜

●薄膜熱電対

●円筒内部成膜

●IoT向けセンサー

●ドームヒーター



1990年代

2000年代

2010年～

GEOMATECの技術はさまざまな分野で活躍しております

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話、デジタルカメラを代表に、毎日の暮らしのごく身近なところに当社の成膜技術が活かされています。それは、真空成膜技術に特化した受託加工メーカーならではのものです。



●携帯電話
●スマートフォン
●タブレット端末



●一眼レフカメラ
●プロジェクター
●デジタルカメラ



●カーナビ
●電車(窓)
●信号機
●魚群探知機
●ETC



●建材用途
●住宅設備

株式の状況

(2018.3.31現在)

発行可能株式総数

21,600,000株

発行済株式総数

9,152,400株

株主総数

4,810名

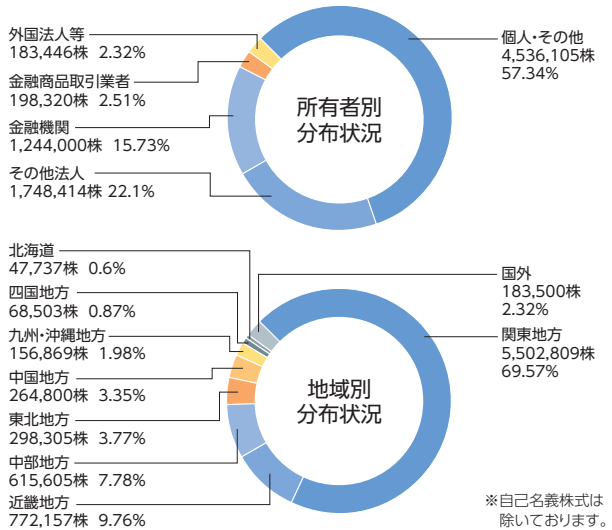
(前期末比120名増)

大株主

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|--|-----------|---------|
| | 持株数(株) | 持株比率(%) |
| 有限会社松崎興産 | 1,389,800 | 17.50 |
| 松崎建太郎 | 427,200 | 5.40 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 394,800 | 4.90 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 303,800 | 3.80 |
| ジオマテック従業員持株会 | 176,280 | 2.20 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 154,000 | 1.90 |
| 個人株主 | 107,100 | 1.30 |
| 第一生命保険株式会社 | 105,000 | 1.30 |
| 株式会社アイ・アンド・イー | 100,000 | 1.20 |
| 個人株主 | 92,600 | 1.10 |

※自己名義株式は除いております。

※株式会社三菱東京UFJ銀行は2018年4月1日付けで「株式会社三菱UFJ銀行」へ、株式会
社東京都民銀行は2018年5月1日付けで「株式会社きらぼし銀行」へそれぞれ商号変更さ
れております。



株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

剰余金の配当基準日

3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数

100株

公告方法

電子公告(<http://www.geomatec.co.jp/>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告によ
る公告をすることができない場合には、日本
経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

| | 証券会社等に口座を お持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合) |
|---|---|---|
| 郵便物 送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 |
| 電話お問い 合わせ先 | | フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00) |
| 各種手続お 取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等) | お取引の証券会社等 になります。 | みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内 の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできません のでご了承ください。 |
| 未払配当金 のお支払 | みずほ信託銀行*及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。 | |
| ご注意 | 支払明細発行につ いては、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付 先・電話お問い合わせ 先・各種手続お取扱店 をご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできま せん。証券会社等に口座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく 必要があります。 |

会社概要 (2018.3.31現在)

| | |
|---------|---|
| 商 号 | ジオマテック株式会社 GEOMATEC CO., LTD. |
| 設 立 | 1953年9月 |
| 資 本 金 | 40億4,385万円 |
| 従 業 員 数 | 594名(連結) 446名(単体) |
| 本社所在地 | 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735 E-mail:geomatec@geomatec.co.jp |
| 事 業 内 容 | フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製造及び販売他 |
| 主な販売先 | アルプス電気(株)、京セラ(株)、シャープ(株)、 (株)ジャパンディスプレイ、 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、 日電東工(株)、パナソニック(株)、 パナソニック液晶ディスプレイ(株) など (五十音順) |

取締役、監査等委員及び執行役員 (2018.6.28現在)

| | |
|-------------|-----------|
| 代表取締役社長兼CEO | 松 崎 建 太 郎 |
| 取締役執行役員兼CMO | 鈴 木 忠 春 |
| 取締役執行役員兼CTO | 菅 原 浩 幸 |
| 取締役執行役員兼CFO | 河 野 淳 |
| 監査等委員である取締役 | 高 橋 幸 吉 |
| 監査等委員である取締役 | 澤 口 学 ※ |
| 監査等委員である取締役 | 寺 西 尚 人 ※ |
| 執 行 役 員 | 松 本 作 太 |
| 執 行 役 員 | 菅 原 英 喜 |
| 執 行 役 員 | 千 葉 浩 之 |
| 執 行 役 員 | 氏 家 光 宏 |
| 執 行 役 員 | 佐 々 木 康 行 |
| 執 行 役 員 | 武 田 明 |

※ 澤口 学及び寺西尚人の両名は社外取締役であります。

ネットワーク

R&Dセンター

〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目13番7号

金成テクノセンター

〒989-5184 宮城県栗原市金成小迫金沼9番地

金成工場

〒989-5164 宮城県栗原市金成金生51番地

赤穂工場

〒678-0165 兵庫県赤穂市木津稻荷山1325番80

吉奥馬科技(無錫)有限公司

中華人民共和国江蘇省無錫市無錫国家高新技术産業開
発区B18-C地塊



リニューアル

当社ホームページでは、成膜技術に関する情報や加工製品、
IR情報などがご覧いただけます。



<http://www.geomatec.co.jp/>

ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。